

問1 大分県別府市の境川河口付近において、昭和五十年代と平成二十五年の二枚の二万五千分の一地形図を比較した際に読み取ることができる、都市開発に伴う人工的な景観の変化として正しいものはどれですか。 (2021年 京都府公立入試 類似)

1. 自然環境を復元するために、既存の橋を撤去して河口を昭和以前の形状に戻した
2. 食料不足を解消するために、沿岸部の埋め立て地に広大な田畑が作られた
3. 河口付近が直線的に埋め立てられ、海上に新たな橋が建設された
4. 防災機能を強化するため、河口付近の住宅地を撤去して警察署や消防署が設置された

問2 新潟県から静岡県付近を縦に貫き、日本列島を地質的に東日本と西日本に分ける巨大な溝状の地形において、その西側の境界線となっている断層帯の名称を答えなさい。 (2021年 山口県公立入試 類似)

1. 糸魚川静岡構造線
2. 中央構造線
3. 柏崎千葉構造線
4. 棚倉構造線

問3 静岡県などに見られる太平洋側の気候において、雨温図上で夏の降水量が多くなる主な要因は何ですか。 (2021年 北海道公立入試 類似)

1. 夏に南東から吹く湿った季節風の影響
2. シベリア高気圧から吹き出す冷たい風の影響
3. 冬に北西から吹く湿った季節風の影響
4. 年間を通じて吹く強い偏西風の影響

問4 日本列島の地形の特徴を説明した文章において、日本アルプスの東側に位置し、日本列島を地質学的に東日本と西日本に分ける南北方向の巨大な断層帯を何と呼びますか。なお、この断層帯は「大地溝帯」とも訳されます。 (2024年 大分県公立入試 類似)

1. 日本海溝
2. フォッサマグナ
3. 火山フロント
4. 中央構造線

問5 北海道の東方から東北地方の太平洋側に沿って南下する、栄養分を豊富に含んだ寒流の名称として最も適切なものを選択してください。 (2019年 岩手県公立入試 類似)

1. 親潮（千島海流）
2. 対馬海流
3. 黒潮（日本海流）
4. リマン海流

問6 屋久島や小笠原諸島の近海を通り、日本の南岸から太平洋側に沿って北上する海流があります。この海流は、塩分濃度が高く透明度が高いという特徴を持っており、別名を「日本海流」とも呼びます。この暖流の名称として正しいものを次の中から選びなさい。 (2015年 山口県公立入試 類似)

1. 対馬海流
2. リマン海流
3. 親潮
4. 黒潮

問7 日本海側の気候がみられる地域において、年間の降水量や日照時間の推移を説明した文として、適切なものはどれですか。 (2024年 富山県公立入試 類似)

1. 梅雨や台風の影響を強く受ける夏から秋にかけて降水量が集中し、冬は乾燥して晴天の日が続く。
2. 冬に北東から吹く「やませ」の影響で冷害が起こりやすく、夏になっても日照時間が全く増えない。
3. 一年を通じて降水量が少なく、特に夏は瀬戸内海沿岸のように極端に日照時間が長くなる。
4. 冬は北西の季節風の影響で降雪量が多くなり降水量が増えるが、夏は晴天の日が多く日照時間が長くなる。

問8 関東地方の河川に関する統計において、流域面積が約16,840平方キロメートルと日本で最大であり、群馬県を源流として千葉県北部などの下流域を経て太平洋に注ぐ河川の名称として最も適切なものを、次の中から選びなさい。 (2019年 群馬県公立入試 類似)

1. 利根川
2. 荒川
3. 信濃川
4. 石狩川

問9 日本の気候に適応した人々の生活の工夫について、山形県に見られる「階段が設置され床面が高くなっている電話ボックス」の説明として、地域の自然環境と関連付けて述べたものを選びなさい。 (2016年 和歌山県公立入試 類似)

1. 冬に大量の積雪がある地域において、雪に埋もれずに出入り口を確保するための工夫である
2. 台風の通り道となる地域において、高潮による冠水から施設を守るための工夫である
3. 季節風が強い地域において、風による建物の転倒を防止するための工夫である
4. 火山灰が降り積もる地域において、灰が室内に侵入するのを防ぐための工夫である

問10 栃木県内を南北に流れる渡良瀬川や鬼怒川は、関東平野を流れるある大規模な河川に合流する支流です。これらの支流を含み、広大な流域を形成して地域の農業に大きく貢献している河川水系の名称として正しいものはどれですか。 (2022年 岡山県公立入試 類似)

1. 利根川水系
2. 最上川水系
3. 筑後川水系
4. 信濃川水系

問11 東京23区における7月下旬から9月末までの「熱帯夜の日数」を調査した統計において、都心部に近づくほど日数が多くなり、周辺の郊外に比べて気温の高い地域が島状に分布していることが示されました。このように、都市化の影響によって都市部の気温が郊外よりも高くなる現象を何といいますか。 (2019年 鹿児島県公立入試 類似)

1. エルニーニョ現象
2. ヒートアイランド現象
3. 地球温暖化
4. 砂漠化

問12 小笠原諸島の自然環境と、そこでの人々の生活や地理的条件について述べた文として、正しいものはどれですか。 (2025年 山梨県公立入試 類似)

1. 落葉広葉樹であるブナの林が島全体を覆っており、秋には紅葉を楽しむ観光客が多く訪れる。
2. 大陸と地続きであった時代に渡ってきた大型の哺乳類が、現在も野生状態で数多く生息している。
3. 気候は一年を通じて温暖な亜熱帯に属しており、独自の進化を遂げた動植物を保護するための取り組みが行われている。
4. 東京都に属しているが、緯度が非常に高いため、冬には流水が接岸するなどの寒冷な気候が特徴である。

問13 近年、都市部では集中豪雨の際に下水管内の空気が圧縮され、マンホールから水が噴き出す「都市型洪水」が課題となっています。この対策として、京都市などで導入されている「雨庭（あめにわ）」の仕組みとして最も適切な説明はどれですか。 (2024年 鳥取県公立入試 類似)

1. 降った雨水を一時的に貯留し、ゆっくりと地下へ浸透させることで下水道への負荷を軽減する。
2. 下水管の中にフィルターを設置し、雨水に含まれるゴミを取り除いてから川へ流す速度を速める。
3. 住宅地の景観を整えるための装飾として、雨水を好む植物を植えることで都市の気温上昇を抑える。
4. 雨水をすべて地下の巨大なタンクに密閉し、災害時の生活用水として利用するために貯蔵する。

問14 ある地域の地形図を確認したところ、大きな建物のすぐ背後に山があり、その斜面にあたる部分の等高線の間隔が非常に狭くなっていました。この地形図から推測される実際の風景の説明として、最も適切なものはどれですか。 (2020年 長野県公立入試 類似)

1. 建物が山の頂上付近にある、平坦な場所に建てられている風景
2. 建物の後ろに、なだらかで緩やかな斜面が遠くまで続いている風景
3. 建物の周囲が等しい高さの土地に囲まれた、広い盆地のような風景
4. 建物のすぐ後ろに、険しく急な斜面がそびえ立っている風景